

### 十二月定例会で同意した人事案件

十二月定例会では、左記の二件の人事案件への同意が求められ、同意、推薦を決定しました。

#### 公平委員会委員の選任について

津山市福田八五番地八 池田 富夫

#### 人権擁護委員候補者の推薦について

津山市加茂町中原四七番地 真木 健一  
津山市安井九〇二番地 安井 勝也

### 十二月定例会に提出された請願の審議結果

●「姫新線坪井駅のトイレ設置」に関する請願

↓趣旨採択

●津山駅前地区に「公共下水道を早期に設置すること」を求める請願

↓採択

●「総合屋内二十五mプール」建設に伴う請願書

↓採択

●新大型給食センター建設反対の請願

↓継続審査

●三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について

↓採択

●市営住宅小原団地の解体撤去と跡地の有効利用に関する請願

↓不採択

### 議会活性化調査特別委員会中間報告と質疑

当委員会は、平成二十三年六月定例会にて、議会活性化に関する諸課題の調査研究を目的として設置され、各会派からの意見を取りまとめながら、これまでに計七回開催した。

調査項目は「議会のあり方」「議員定数」「議員報酬」「議会運営」「その他」に分類し、調査期間は平成二十四年度末を目前に、結論の出たものから順次実施することとした。

十一月には議員研修会を全国市議会議長会の本橋謙治法制参事を招き、開催し、「議会改革等の現状と課題について」と題して講演をいただいた。他都市の事例を交



えながら議会改革や議会の活性化について総合的な観点から説明がなされ、議会基本条例の制定等の具体的な課題について熱心に質疑討論を行った。

各調査項目については、まず、「議員報酬」の検討を行い、協議の中では、多様な意見を議会に反映させるためには報酬の最低限の保障が必要という意見、社会情勢を勘案し削減をという意見、議会費

全体を検討する必要があるという意見等が出された。慎重審議の結果、報酬は現行どおりとすることとした。

調査項目「その他」のうち、「議会費の内訳の分析と検討、旅費のあり方」については、当市の厳しい財政状況を鑑み、来年度予算から常任委員会と特別委員会の視察旅費を半額とし、議会交際費を三割減額することに決定した。

「議会運営」に関しては、調査内容を議会運営委員会等と分類し、当委員会では、対面方式や一問一答方式による質問方法あるいは行政への反問権の付与の課題を協議するなど、市民にわかりやすい議会運営とするため、今後検討していくこととした。

当委員会は、継続して積極的に調査・研究に取り組んでいくこととする。

### 議員報酬削減の意見が反映されていないのでは

津山誠心会議・改革クラブ 山田 誠

質問↓先の市議会議員選挙において、選挙公報や選挙活動で数名の候補者が議員報酬削減や見直しを掲げていたがこの委員会でのように反映されたのか。

答弁↓この委員会は会派を代表する議員で構成されており会派から出された各種意見を検討した結果、中間報告としては委員長報告のとおりとなった。



十二月定例会を終えて、議会だよりを作成する本格的な準備です。時の流れは速く、アツと言う間に新年を迎えました。二〇一二年の幕開けです。編集後記も年が変わってからの作成です。

昨年、東日本大震災・原発事故と放射能汚染、かつて経験したことのない未曾有の被害などで大変な年でした。津山市にとりましても、放射能汚染問題を含めて、他人事ではありません。津山市の「防災計画の見直し」に向けて、市民の皆さんの命・財産・暮らしを守る施策の充実へ大変でした。

この議会だよりが市民の皆さんのお手元に届くのは二月の十日を過ぎてからとなります。少し時期外れになりますが、本年もよろしくお願い致します。(弘)

「疾風に勁草を知る」という言葉がある。ごみ処分場のわずかな前進、疾風に立ち向かう宮地市政、頼りない面はあるが「意志あるところに道は開ける」(康)

三月十一日からの緊張した日々、そして大晦日。何かしら切り替えができる、そんな元旦でした。忘れてはいけないことにはっきり思いを新たに、出発です。(節)

厳しい財政難をどうして乗り越えるか。議会の役割は一層重大になります。市民の方々の協力も必要です。明るい話題づくりにぜひ力をあわせて頑張りましょう。(靖)

### 広報調査特別委員会メンバー

- ◎ 末永 弘之 ○ 田口 慎一郎
- 岡田 康弘、 黒見 節子、 竹内 靖人
- 野村 昌平、 原 行則、 吉田 耕造